

勤怠管理をデジタル化して 月132時間の事務を削減！

取り組みの内容

業務内容によって単価が異なる事業において、勤怠管理を紙形式からデジタル形式することで、給与計算までの事務を効率化した。



今回導入したデジタルツールと取組成果

デジタルツール名	製品名と機能
勤怠管理ソフト	クロノスPerformance 勤務時間等の自動集計や給与ソフトに連動するデータの作成ができるソフトウェア
ICカード勤怠管理システム	テレタイムeZ タッチパネルから出退勤や外出・再入などを選択し、ICカードをかざして正確に打刻の登録を行うことができるタイムレコーダー



社会福祉法人
なごみかぜ
大場 保治さん
おおば やすはる

成果	数字で表すと	気持ちで表すと
給与計算業務の省力化・標準化が実現できた	約4百万円の投資で、 <u>月132時間、年1584時間の時間を効率化できた</u>	業務を標準化できたことで、根雪のように積みあがってしまう例外業務を減らし、業務を削減できた

